

2026 年度第 1 四半期 決算発表

概要

2026 年度第 1 四半期決算についてご報告いたします。

収支・加入のハイライトは以下の通りとなります。

決算ハイライト①

WOWOW

収支（連結）

- 売上高 : 事業収入は増加したが、会員収入やテレマーケティング事業の売上減少により減収
- 経常利益 : 売上高の減少にともない減益

売上高（百万円）

17,644

前年同期差| ▲1,050
前年同期比| 94.4%

経常利益（百万円）

1,367

前年同期差| ▲54
前年同期比| 96.2%

※ それぞれ百万円未満は切り捨てております。

©2026 WOWOW INC. | 3

- 売上高は、事業収入の増加があった一方で、会員収入やテレマーケティング事業の売上が減少したため、減収となりました。
- 経常利益は、売上高の減少にともない、減益となりました。

加入

- 正味加入件数 : UEFAチャンピオンズリーグやテニス等のスポーツコンテンツ、東方神起やSUPER BEAVERといった音楽コンテンツが新規獲得に貢献
一方で、サッカーのシーズンオフ等といった目的番組終了により正味加入件数は減少
- 累計正味加入件数 : 目的番組の終了に伴う解約に加え、25年度末時点で前期比▲19万3千件だったことで、前年同期比で減少となる

正味加入件数 (千件)

▲79

前年同期差 | ▲2
前期同期比 | —

累計正味加入件数 (千件)

2,088

前年同期差 | ▲195
前期同期比 | 91.5%

©2026 WOWOW INC. | 4

- 正味加入件数・累計正味加入件数ともに、前年同期比でマイナスとなりました。
- 正味加入件数は、サッカー、テニスなどのスポーツコンテンツや音楽コンテンツが加入獲得につながった一方で、目的番組の終了による解約等により、前年同期比で減少しました。
- 累計正味加入件数は、正味加入件数の減少に加え、25年度末時点で前期比19万3千件減少したことから、前年同期比で減少しました。

NTTドコモとの資本業務提携についてです。

資本業務提携の概要

WOWOW

① Leminoの共同事業化、合併会社(JV)の設立

NTTドコモからLemino事業を承継
Lemino事業を承継し新OTTサービスを運営する
合併会社(JV)を設立

- ・ 承継事業対価 : 226億円相当の新会社株式※
- ・ 当社出資額 : 115億円※

② 第三者割当増資

NTTドコモから
持株比率2.8%の出資

- ・ 出資額: 8.4億円

WOWOWの
コンテンツプロデュース力



NTTドコモの会員基盤・
ベニューなど多様なアセット

デジタルとリアルを横断したエンターテインメント体験の提供

※契約締結(6/15)時点の見込み額であり変動の可能性有

©2026 WOWOW INC. | 6

- ・ 6月15日、NTTドコモと資本業務提携契約を締結しました。
- ・ 今回の提携は、WOWOWのコンテンツ制作・調達力・プロデュース力と、NTTドコモの強固な会員基盤や各種サービスなどのアセットを融合し、新たな映像配信サービス(OTTサービス)を共同で展開するものです。

① Leminoの共同事業化、合併会社(JV)の設立

- ・ 現在NTTドコモが運営しているLemino事業を共同事業化します。
- ・ 吸収分割(会社分割)の方法によりLemino事業を承継したのち、合併会社(JV)を設立します。
- ・ 当社はこの合併会社に51%を出資し、連結子会社とします。
- ・ 出資額は、承継事業対価226億円の51%である115億円を見込んでおり、残り49%をNTTドコモが出資する予定です。
- ・ なお、これらの金額は契約締結日である6月15日時点の数字であり、変動する可能性があります。

② 第三者割当増資

- ・ NTTドコモに対する第三者割当増資を決定しました。
- ・ 持株比率は2.8%、出資額は8.4億円となります。



©2026 WOWOW INC. | 7

- 事業の受け皿となる準備会社は、6月17日に設立済みです。
- 社名は、「WOWOW 共同事業準備株式会社」ですが、10月1日には変更予定です。
- 代表取締役は、当社の常務執行役員である鈴木が務めます。
- 今後は、10月1日に会社分割を実施する予定です。
- NTTドコモから準備会社に Lemino 事業を移管し、226 億円の対価として株式を交付します。
- その後、NTTドコモが受け取った株式のうち51%を当社に売却し、連結子会社化します。
- 会社分割と株式売却は10月1日に同日実施予定であり、この日が事業の承継日、クロージング日となります。

第三者割当増資について

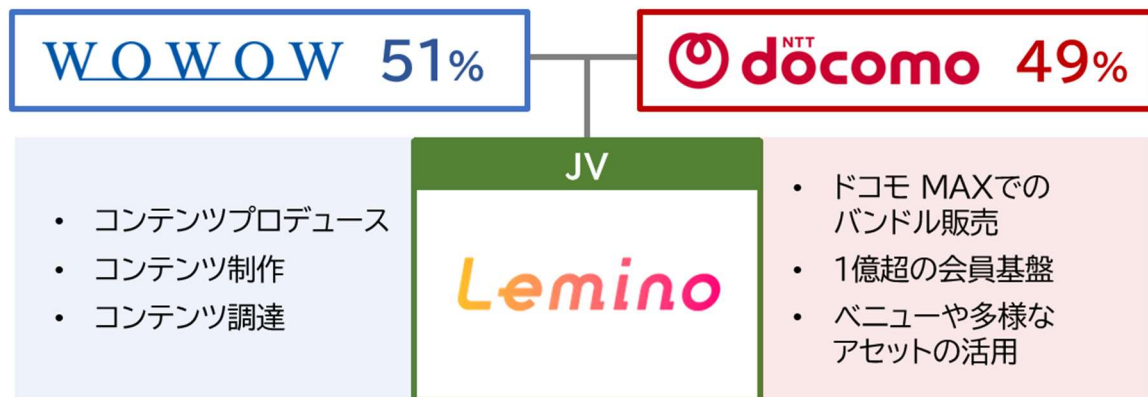
払込期日	2026年10月1日
発行株式数	普通株式815,800株 (持株比率2.80%)
発行価額	1株につき1,031円 ※取締役会決議日の 直前営業日(6/12)の終値
調達金額	841,089,800円
資金使途	JVにおける エンターテインメント映像 コンテンツ配信事業の成長投資

株主名	【割当前】		【割当後】	
	順位	持株比率	順位	持株比率
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	1	20.91%	1	20.32%
株式会社TBSホールディングス	2	16.03%	2	15.58%
日本テレビ放送網株式会社	3	9.23%	3	8.97%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4	4.57%	4	4.44%
MSIP CLIENT SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社)	5	3.56%	5	3.46%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・株式会社電通口)	6	3.21%	6	3.12%
株式会社NTTドコモ		—	7	2.80%
株式会社朝日新聞社	7	1.96%	8	1.90%
株式会社テレビ朝日ホールディングス	8	1.22%	9	1.19%
株式会社テレビ東京	8	1.22%	9	1.19%
株式会社日本経済新聞社	8	1.22%	9	1.19%
株式会社読売新聞東京本社	8	1.22%	9	1.19%

※6/16公表「第三者割当による新株式の発行に関するお知らせ」より

©2026 WOWOW INC. | 8

- 6月15日の取締役会において、NTTドコモを割当先とする第三者割当増資を決定しました。
- 払込期日は、クローリング日と同日の10月1日を予定しています。
- 発行株式数は81万5,800株で、持株比率は2.8%となります。
- 発行価格は1株当たり1,031円で、これは取締役会決議日の前営業日の終値です。
- 調達金額8億41百万円は、JVにおける配信事業の成長投資に充当する予定です。
- 割り当て後、NTTドコモは当社の第7位の株主、機関投資家を除くと第5位の株主となります。
- この資本関係により両社の結束を高め、今回の提携による当社の企業価値向上につなげてまいります。



2026年度の重点戦略として掲げた 「新たな配信サービス」を共同事業化

©2026 WOWOW INC. | 9

- 当社は、長年培ってきたコンテンツプロデュース力および制作力を生かし、ドラマなどのオリジナルコンテンツの制作や、音楽をはじめとする人気コンテンツの調達を担います。
- NTTドコモは、「ドコモ MAX」での販売をはじめ、通信サービス利用者やdアカウント保有者など、1億を超える会員基盤を活用したサービス展開を担います。
- 両社の強みを結集することで、Leminoを基盤に事業運営を継続しながら、ドラマ、音楽、スポーツを中心にWOWOWの強みを生かしたコンテンツ展開を進め、2026年度の重点戦略である「新たな配信サービス」をNTTドコモとの共同事業として推進してまいります。

Leminoは「ドコモ MAX」の選べる特典として
引き続き提供予定

WOWOW

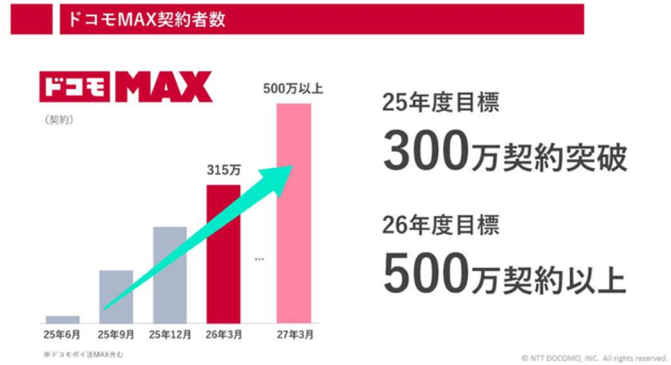
ドコモ MAX

選べる特典

追加料金**0円**で
4つのサービスから2つ選べる！
(サービスを毎月切り替えることが可能です)

音楽・映画・ドラマ **Lemino** アニメ **dアニメストア** スポーツ **DAZN** **docomo**

出典:<https://ssw.web.docomo.ne.jp/max/>



出典:NTTドコモ「2025年度決算および2026年度業績予想」について

©2026 WOWOW INC. | 10

- NTTドコモが提供するスマートフォンの料金プラン「ドコモ MAX」の利用者は、4つの映像サービスの中から2つを選択できる特典があり、Leminoはその特典のひとつとなります。
- Lemino事業がJVに移管された後も、引き続き「ドコモ MAX」の特典として提供予定です。
- なお、2025年度のNTTドコモ決算資料にもあるとおり、「ドコモ MAX」の契約者数は2026年3月末時点で315万件となっており、2027年3月末までに500万件以上の獲得を目標として掲げられています。
- この「ドコモ MAX」の特典プランやドコモショップなどの販売網と、今回の提携により強化されたラインナップを提供することで、より多くのお客さまにお選びいただけるサービスを目指し、準備を進めてまいります。



～より多くのお客さまに質の高いサービスを提供～
さらに魅力的なエンターテインメント映像配信サービスへ

©2026 WOWOW INC. | 11

- 当社が長年培ってきたコンテンツプロデュース力や制作力と、NTTドコモが有する会員基盤、国立競技場や有明アリーナ等のベニュー運営、さらに全国のドコモショップや各種サービスといった多様なアセットを掛け合わせ推進してまいります。
- Lemino 事業が移管された JV を通じて、より魅力的なエンターテインメント映像配信サービスへと進化させていきます。
- 映像コンテンツを見るにとどまらず、デジタルとリアルを掛け合わせた新たなエンターテインメント体験の創出に向けて、両社一丸となって取り組んでいきます。今後の展開にご期待ください。

2026 年度第 1 四半期決算の詳細についてです。

収支状況（連結）

WOWOW

（単位：百万円）

	2025年度1Q		2026年度1Q		前年同期比較	
	実績	収入比	実績	収入比	前年同期差	前年同期比
売上高	18,694	100.0%	17,644	100.0%	▲1,050	94.4%
営業利益	1,176	6.3%	921	5.2%	▲255	78.3%
経常利益	1,422	7.6%	1,367	7.8%	▲54	96.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	997	5.3%	992	5.6%	▲4	99.5%

※それぞれ百万円未満は切り捨てております。

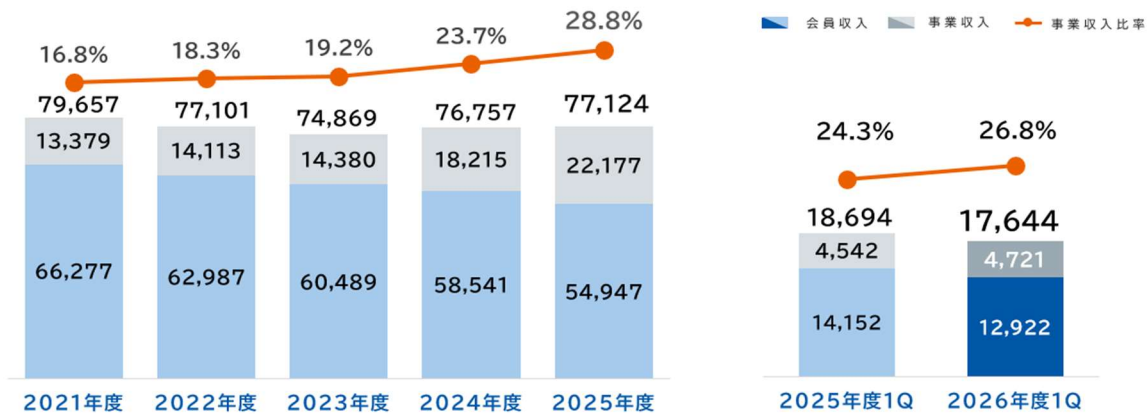
©2026 WOWOW INC. | 13

- 売上高は 176 億 44 百万円で、10 億 50 百万円の減収となりました。
- 経常利益は 13 億 67 百万円で、54 百万円の減益となりました。
- 売上高は、事業収入は増加した一方で、会員収入やテレマーケティング事業の売上減少により、減収となりました。
- 経常利益は、番組費の減少や為替差益の増加といった増益要因はあったものの、売上の減少をカバーできず、54 百万円の減益となりました。
- 四半期純利益は、4 百万円減益の 9 億 92 百万円となりました。

直近5年間の売上高推移

WOWOW

(単位:百万円)



※それぞれ百万円未満は切り捨てております。

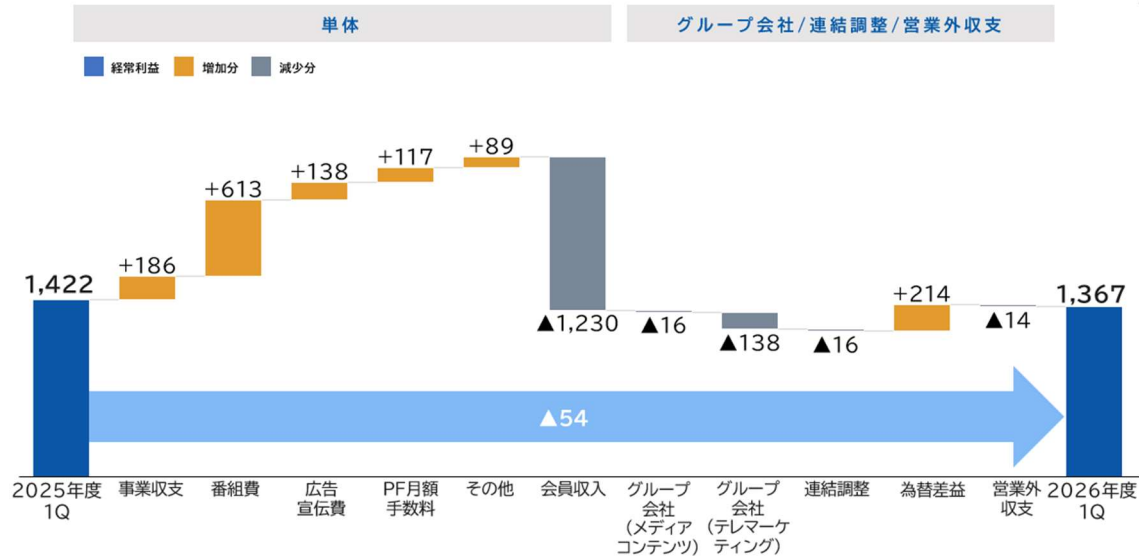
©2026 WOWOW INC. | 14

- 当社は、事業の多層化を推進することで、加入件数の増減に左右されない事業構造への変革を目指しています。
- ここでは、会員収入とそれ以外の事業収入の構成比について説明します。
- 2026年度第1四半期は、会員収入の減少により前年同期比で売上高は減少しましたが、事業収入は前年同期比で1億79百万円増加しました。
- その結果、事業収入比率は前年同期比で2.5ポイント増の26.8%となりました。

連結経常利益 前年同期との差異要因

WOWOW

単位:百万円



©2026 WOWOW INC. | 15

単体における増減要因をご説明します。

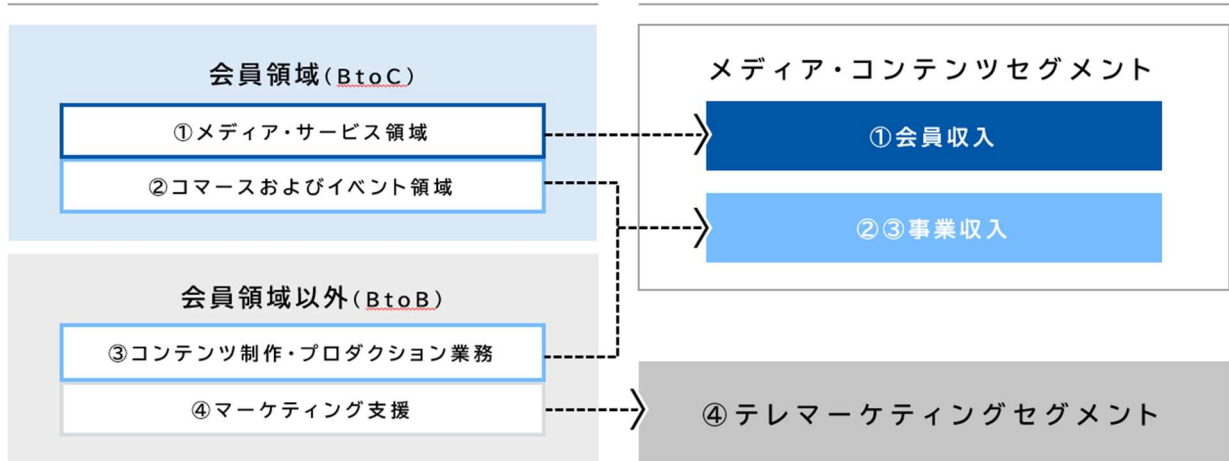
- 増加要因
 - 事業収支は、後ほど説明する事業収入の増加に伴い、1億86百万円増加しました。
 - 番組費は、後ほど説明するように、6億13百万円減少しました。
 - 広告宣伝費は、効率的な投下により、1億38百万円減少しました。
 - PF月額手数料は、会員数の減少等に伴い、1億17百万円減少しました。
 - その他営業費用は、89百万円減少しました。
- 減少要因
 - 会員収入は、12億30百万円減少しました。

グループ会社、営業外収支等についてです。

- メディアサービスセグメントについて、昨年度は「WOWOWBRIDGE」による海外ドラマの日本国内における撮影等制作を請け負うプロダクション業務の受注があったこと等により、16百万円減少しました。
- テレマーケティングセグメントは、「WOWOW コミュニケーションズ」や同社の連結子会社である「cinra」の売上減少等に伴い、1億38百万円減少しました。
- 営業費用までの連結調整は、前年同期比で16百万円減少しました。
- 営業外収支では、為替差益が2億14百万円増加し、その他は14百万円減少しました。
- 以上の結果、前年同期実績14億22百万円に対し、54百万円減益の13億67百万円となりました。

中期経営計画（2025-2029年度） における事業領域

セグメント内訳



©2026 WOWOW INC. | 16

- 本中期経営計画では事業領域を、会員領域(BtoC)と、会員領域以外(BtoB)としておりますが、当社セグメント内訳との関係についてご説明いたします。
- 会員領域の「メディア・サービス領域」は、当社セグメント内訳におけるメディア・コンテンツセグメントの「会員収入」として報告しております。
- 会員領域の「コマースおよびイベント領域」と、会員領域以外の「コンテンツ制作・プロダクション業務」は、同セグメント内訳における「事業収入」として報告しております。
- また、会員領域以外の「マーケティング支援」は、同セグメント内訳における「テレマーケティングセグメント」として報告しております。

事業概要

会員収入

- **有料衛星放送**
BSデジタル有料放送サービス、ケーブルテレビやCSなどの他社プラットフォームを通じた有料放送
- **配信サービス**
WOWSPOT、トリプルプラン、サッカーのシーズンパスなど

事業収入

- **映画・イベント・EC事業（BtoC）**
映画興行、イベント興行、ECサイト「WOWOW百貨店」でのコマース事業
- **広告・ライツ事業**
広告収入、他社への番組販売・著作権販売など
- **その他事業**
他社に向けたコンテンツ制作・プロダクション業務、チャンネル運営など
- **グループ会社**
WOWOWプラス、WOWOWエンタテインメント、WOWOW BRIDGE

セグメント業績

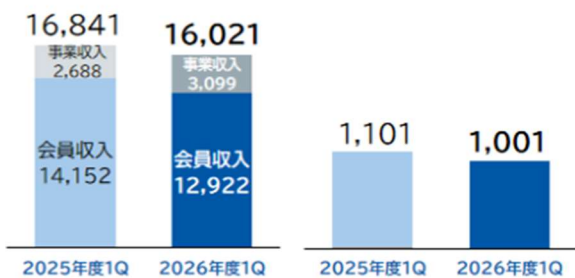
- **売上高** : WOWOW単体を中心に事業収入は増加したが、会員収入の減少により減収
- **営業利益** : 会員収入の減少等にもとない減益

売上高（百万円）

前年同期比 95.1%

営業利益（百万円）

前年同期比 90.9%



※それぞれ百万円未満は切り捨てております。

©2026 WOWOW INC. | 17

メディア・コンテンツセグメントの状況です。

- このセグメントは、放送・配信サービスによりお客さまからいただく「会員収入」と、それ以外の「事業収入」で構成されています。
- 「事業収入」は、以下で構成されています。
 - **BtoC 事業**: 映画やイベントなどの興行、EC サイト「WOWOW 百貨店」のコマース事業
 - **広告・ライツ事業**: 広告収入、他社へのコンテンツ販売など
 - **その他事業**: 他社向けのプロダクション事業など
 - **グループ会社の実績**: 「WOWOW プラス」「WOWOW エンタテインメント」「WOWOW BRIDGE」
- 売上高は、後ほど説明する WOWOW 単体等の事業収入が増加した一方で、会員収入の減少をカバーできず、8 億 19 百万円の減収となりました。
- 営業利益も、会員収入の減少等により、99 百万円の減益となりました。

売上高内訳（単体）

WOWOW

（単位：百万円）

	2025年度 1Q	2026年度 1Q	前年同期差	前年同期比
会員収入	14,152	12,922	▲1,230	91.3%
事業収入	820	1,533	713	186.9%
映画・イベント・EC事業(BtoC)	171	506	334	294.8%
広告・ライツ事業(BtoB)	343	434	90	126.4%
その他事業(BtoB)※1	305	593	287	194.4%
合計	14,973	14,456	▲516	96.5%

※1 コンテンツ制作・プロダクション業務など
 ※2 それぞれ百万円未満は切り捨てております。

©2026 WOWOW INC. | 18

WOWOW 単体の 2026 年度第 1 四半期の売上高内訳です。

- 2026 年度第 1 四半期は、会員収入が 12 億 30 百万円減少した一方で、事業収入が 7 億 13 百万円増加したことにより、5 億 16 百万円の減収となりました。
- 映画・イベント・EC 事業では、劇場版『ゴールデンカムイ 網走監獄襲撃編』やイベント事業の好調などにより、3 億 34 百万円の増収となりました。
- 広告・ライツ事業では、番組販売等の好調などにより、90 百万円の増収となりました。
- その他事業では、他社コンテンツの制作を担うプロダクション事業の受注等により、2 億 87 百万円の増収となりました。

事業概要

WOWOWコミュニケーションズグループ全体で
テレマーケティング業務・デジタルマーケティング
業務を展開



セグメント業績

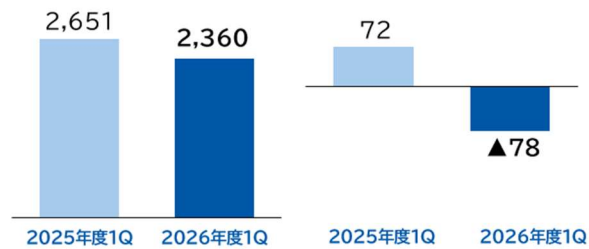
- 売上高 : WOWOWコミュニケーションやcinra社の減収により減収
- 営業利益 : 売上高減にともない減益

売上高 (百万円)

前年同期比 **89.0%**

営業利益 (百万円)

前年同期比 **—**



※それぞれ百万円未満は切り捨てております。

©2026 WOWOW INC. | 19

「テレマーケティング」セグメントの状況です。

- こちらは、2023 年度に買収した「フロストインターナショナルコーポレーション」、2024 年度に買収した「cinra」を含む、「WOWOW コミュニケーションズグループ」の事業となります。
- 売上高は、「WOWOW コミュニケーションズ」や「cinra」の減収により、2 億 90 百万円の減収となりました。
- 営業利益は、売上高の減少により、1 億 51 百万円の減益となりました。

	2025年度1Q	2026年度1Q	前年同期比較	
			前年同期差	前年同期比
正味加入件数	▲77	▲79	▲2	—
累計正味加入件数	2,283	2,088	▲195	91.5%
内)複数契約	307	277	▲30	90.3%
内)宿泊施設契約	89	91	2	102.0%

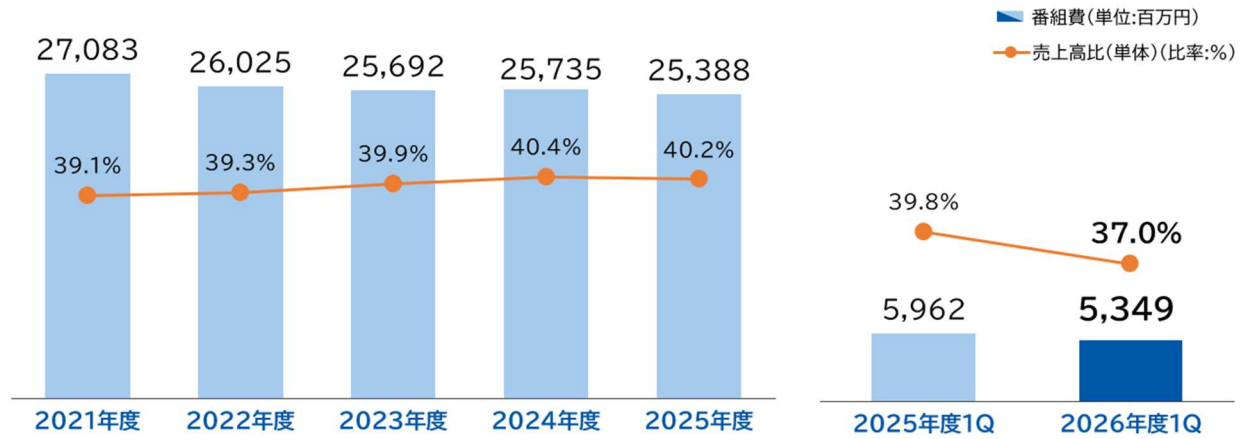
©2026 WOWOW INC. | 20

加入状況について

- 正味加入件数は7万9千件の減少、累計正味加入件数は208万8千件となりました。
- 正味加入件数は、UEFAチャンピオンズリーグや、テニスの全仏オープン・ウィンブルドンといったスポーツコンテンツ、東方神起やSUPER BEAVERといった音楽コンテンツが加入獲得につながりました。
- 一方で、サッカーコンテンツ等の目的番組の終了による解約等により、前年同期比で2千件の減少となりました。
- 累計正味加入件数は、正味加入件数の減少に加え、25年度末時点で前期比19万3千件減少したことから、前年同期比で19万5千件減少となりました。

番組費の推移

WOWOW



※数値はすべて単体
※それぞれ百万円未満は切り捨てております。

©2026 WOWOW INC. | 21

番組費の推移です。

- LPGA 女子ゴルフツアーの放送・配信終了等に伴い、前年同期比で 6 億 13 百万円減少しました。

2026 年度計画です。

5/15 公表値より変更はございません。

なお、2026 年6月 16 日に公表しました「株式会社NTTドコモとの間におけるエンターテインメント映像コンテンツ配信事業『Lemino』に関する資本業務提携」が、当社グループの 2027 年3月期の連結業績に与える影響については現在精査中であり、今後開示すべき事項が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

収支計画（連結）

WOWOW

2026年6月16日に公表しました「株式会社NTTドコモとの間におけるエンターテインメント映像コンテンツ配信事業『Lemino』に関する資本業務提携」が、当社グループの2027年3月期の連結業績に与える影響については現在精査中であり、今後開示すべき事項が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

	2025年度実績		2026年度計画		前期比較	
	実績	収入比	計画	収入比	前期差	前期
売上高	77,124	100.0%	74,500	100.0%	▲2,624	96.6%
営業利益	1,475	1.9%	750	1.0%	▲725	50.8%
経常利益	2,276	3.0%	1,000	1.3%	▲1,276	43.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,296	1.7%	600	0.8%	▲696	46.3%

(単位:百万円)

※番組費:単体の売上高比として約40.5%を見込む(2026年度 単体売上高予想:59,700百万円)
※想定為替レート:1ドル160円 ※それぞれ百万円未満は切り捨てております。

©2026 WOWOW INC. | 22

2026 年度収支計画です。

- 売上高は、事業の多層化による売上の増加を見込む一方で、会員収入の減少を想定しているため、前期比で減収となる見込みです。
- 経常利益は、全社的なコスト構造改革による費用減を見込む一方で、会員収入の減少により、前期比で減益となる見込みです。

(単位:千件)

	2025年度 実績	2026年度 計画	前期比較	
			前期差	前期比
正味加入件数	▲193	▲110	83	—
累計正味加入件数	2,167	2,057	▲110	94.9%

©2026 WOWOW INC. | 23

2026 年度加入計画です。

- 加入計画は、正味加入件数がマイナス 11 万件、累計正味加入件数が 205 万 7 千件となります。
- 前期比で 8 万 3 千件の改善となりますが、競争環境の激化などにより、マイナスでの着地を見込んでいます。
- 新たな配信サービスや外部プラットフォームでの展開など、配信領域における商品の多様化に伴い、今期より加入件数は、四半期ごとの正味加入件数・累計正味加入件数の実績値を決算発表で報告してまいります。

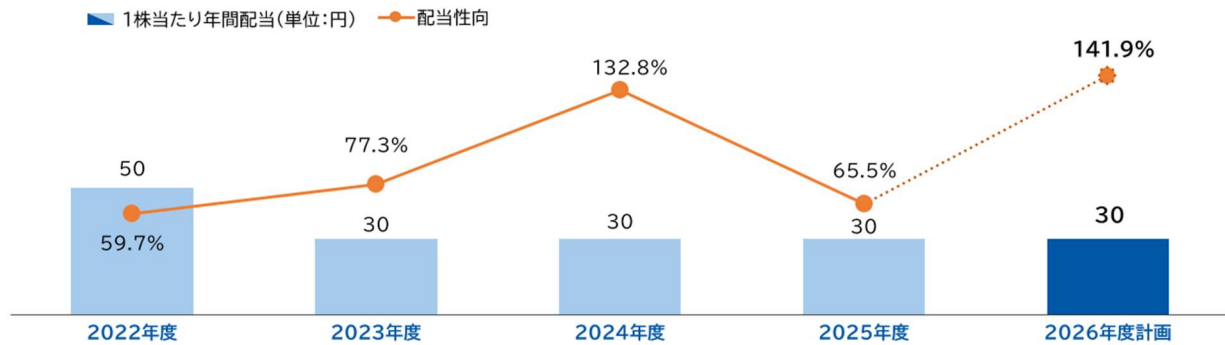
配当計画

WOWOW

配当方針

各事業年度の業績、財務体質の強化、中長期事業戦略などを総合的に勘案して、内部留保の充実を図りつつ、継続的に安定的な配当を目指す

1株当たり配当金/配当性向の推移



©2026 WOWOW INC. | 24

2026年度配当計画です。

- 1株当たりの配当は、30円を計画しています。
- 株主還元の強化については、その重要性を当社としても認識しており、減収減益の状況下においても、継続的に安定的な配当を行う方針を維持することとしました。

今後の取り組みについてです。

コンテンツラインアップ

WOWOW

日本最大級の都市型音楽フェスを独占ライブ配信



**SUMMER SONIC
2026**

8/14(金)~16(日)配信

©SUMMER SONIC All Copyrights Reserved.

Mrs. GREEN APPLEが立ち上げた、
新たなエンタテインメントショーをお届け！



Mrs. GREEN APPLE
presents
『CEREMONY』2026

8/22(土)・23(日) 放送・配信

錦織圭が思い出の大会に帰ってくる！



木下グループ
ジャパンオープンテニス

9/30(水)~10/6(火)放送・配信
※予選:9/28(月)~9/29(火)
WOWOWオンデマンドにて配信

Getty Images

WOWOW×東野圭吾、渾身の10作品目
主演・香取慎吾×監督・瀬々敬久でお届け



連続ドラマW
東野圭吾
「虚ろな十字架」

9/6(日)放送・配信

©2026 WOWOW INC. | 26

映画事業における取組み

WOWOW

第63回ギャラクシー賞テレビ部門大賞他
数々のテレビ賞を受賞した話題作を劇場上映



八月の声を運ぶ男

8/21(金)より
全国のTOHOシネマズにて公開
(一部劇場を除く)

製作・配給:WOWOW

TUBE初となる長編映画。
40周年だからこそ実現した特別なライブの数々と、
その裏側にある4人の想いを映し出す。



「劇場版
TUBE 40th
Anniversary
Live & Documentary
~40周年の航海記~」

8/28(金)~

©WOWOW

©2026 WOWOW INC. | 27

大人気生放送番組「芳雄のミュー」のイベントが
今年も開催決定！
豪華ゲストとのパフォーマンスは必見



芳雄のミュー
Dream Fes.
東京国際フォーラム
9/25(金)

ラジオ番組「SPITZ 草野マサムネのロック大陸漫遊記」
から生まれたイベント。
国内外のアーティストが一夜限りの
特別なパフォーマンスをお届け



ロック漫祭
～SPITZ 草野マサムネの
ロック大陸漫遊祭り～
有明アリーナ
9/22(火・休)

©2026 WOWOW INC. | 28

今後の取り組みの最新情報については、以下ホームページをご確認ください。

- ・WOWOW オンライン(<https://www.wowow.co.jp/>)
- ・WOWOW NEWS(<https://news.wowow.co.jp/>)

以上